

こ いで ふみ  
小出史さん

有限会社ソルト・ファーム代表取締役  
朗読・ナレーション・司会

PROFILE

1959年 熊本市生まれ。NHK 熊本放送アシスタントを経て、KAB開局当時からアナウンサー。現在は、塩の大切さを発信する傍ら、司会業やテレビのコメンテーターを務める。

右も左も分からず始めたけれど  
「おいしかった!」という  
お客さまの言葉が励みに



(有)ソルト・ファーム  
熊本市中央区中唐人町29  
TEL: 096-355-4140  
URL: <http://saltfarm.jp/>

輝きの軌跡

小出史さんの  
キャリアアストリー

1999年	1998年	1995年	1988年	1985年	1980年
3月下旬、ソルト・ファームの直営店をオープン	7月にKABを退社、ピースボートで世界一周	離婚	結婚	KAB開局時に入社、アナウンサーを務める	NHK熊本放送局でアシスタントとしてニュース番組を担当
				長崎の短大を卒業後、松下電器九州営業所に就職	

取材担当  
熊本大学3年  
砂岳佳菜恵

「アナウンサーから塩屋さんへ。どのようなきっかけだったのですか。」

小出 天草・通詞島の塩に出会い、塩の大切さを広めようと思ったからです。アナウンサーとして10年が経ったころ、仕事や離婚などで疲労困ぱいし、気持ちをリセットしたいと思っていました。心身のバランスを失っていた時、母がイワシの塩焼きを作ってくれました。それまでまともに食事もできていませんでしたが、数週間ぶりに食べ物をおいしいと感じ、元気が湧いてきました。聞くと、通詞島の塩を使ったとのこと。以前、私が取材して感銘を受けた塩でした。通詞島で塩の奥深さを知った時の感動が蘇り、職人さんに会いに行きました。その後アナウンサーを辞め、ピースボートで世界を回った後に再び通詞島を訪ね、ソルト・ファームを設立しました。

「初めは大変だったのでは。」

小出 商売のことなど右も左も分からず、資金もありませんでした。宣伝のため真夜中に、店のチラシを近所にポスティングして回ったり、東京や大阪の催事に出店するために狭い宿にも泊まりました。でも、ピースボートで知り合った方が手伝ってくれたり、何よりお塩を使ってく

「さったお客さまの「おいしかった!」という言葉が励みになりました。」

「小出さんの行動力の源はなんでしょか?」

小出 私自身の心に響いたことや深く共感したことを、もっと多くの人に伝えたいという思いではないでしょうか。その方の思いや言葉に心をつかまされると、「自分に何ができるか」「一緒にできることはないか」と、考えてしまいます。

「これから社会に出る熊本の学生にアドバイスをください。」

小出 社会に出ると、描いていた理想と現実とのギャップを感じることもあると思います。その中でどうすれば楽しくなるか考え、工夫することが大切。そして、うまくできたことや嬉しかったことは、周囲に伝えてください。その先に喜びがあると思います。

「しなやかにたくましくあれ」。会社を辞める時、上司から贈られた言葉です。今も大事にしています。

